

今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 令和5年度当初予算における最重点事業について	<p>提案理由説明において、限られた財源の中で選択と集中を進め、人への投資に予算配分を強化するという方針を掲げており、並々ならぬ意気込みの訴えであった。</p> <p>今回示された当初予算においては、多岐にわたる分野で様々な事業が予算計上され、一般会計については、借換債を除く実質的な予算規模において、前年度比約11億8,000万円、3.6%の増加となっている。</p> <p>この積極的な予算となった当初予算案において、宮元市長がまさを選択し、集中して投資を行うこととした施策は、具体的にどの事業なのか。</p> <p>また、その施策にかける宮元市長の思いを改めて問う。</p>
2 幼児教育・学校教育について	<p>(1) 加賀市学校教育ビジョンについて</p> <p>① 現場の教職員について</p> <p>加賀市学校教育ビジョンにおいては、「学びを変える」、「誰一人取り残さない」、「未来は自分で創る」、「地域と一緒に」の4つのプロジェクトに総額1億円以上の予算が計上されている。</p> <p>「そろえる教育」から、未来の人材を育成する「一人ひとりを伸ばす教育」に変革するという、非常に革新的なものであり、これほど独自の教育改革を行う自治体は全国でも例はないと思われる。</p> <p>一方、現場の教職員は、旧来型の画一的な教育を受け、教職員となっている人がほとんどだと思われるが、これほどの変化について、不安や戸惑いなどの声はないのか。</p> <p>また、加賀市学校教育ビジョンの策定に当たり、現場の教職員との意見交換などは行ったのか。</p> <p>行ったのであれば、その意見はどのようなものであったのか。</p> <p>さらに、今後、現場の教職員とビジョンを共有し、理解を得て取組を進めていく必要があると思われるが、具体的にどのように進めていくのか。</p>

今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 幼児教育・学校教育について （つづき）	<p>② 石川県教育委員会との連携について</p> <p>加賀市学校教育ビジョンを推進するには、現場の教職員の理解が非常に大事だと思われる。</p> <p>小・中学校の教職員は、石川県教育委員会が人事を行っており、せっかく教職員が本市のビジョンを理解しても、人事異動により他の自治体へ配置されてしまうこともあり得る。</p> <p>今回の加賀市学校教育ビジョンの内容について、石川県教育委員会に理解を得られているのか。</p> <p>また、教職員の人事異動についても協力が得られるのか。</p>
	<p>(2) 幼児教育の質向上事業について</p> <p>① 幼児教育の課題について</p> <p>学校教育の改革の推進に合わせて、幼児教育の質向上事業が当初予算に計上されている。</p> <p>加賀市の幼児教育について、現在の課題はどのようなものがあると認識しているのか。</p> <p>また、その課題に対する現在までの取組状況について問う。</p>
	<p>② 加賀市学校教育ビジョンとの連携について</p> <p>幼児教育の質向上事業により、これからどのような取組を行うのか。</p> <p>特に、幼児教育の質向上事業は、加賀市学校教育ビジョンのプロジェクトと連携し、幼児期の学びの芽生えを就学後につなげられる体制を整備するとあるが、具体的にどのように連携を取り、事業の効果を上げようとしているのか。</p>

今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 幼児教育・学校教育について （つづき）	<p>③ 石川県との連携について</p> <p>石川県が来年度、東京大学の発達保育実践政策学センターの協力を得て、県内の認定こども園のゼロ歳児から2歳児までの教育の実証研究を行い、その実践例を盛り込みながら独自の指針を定めるとのことである。</p> <p>今回の幼児教育の質向上事業については、この石川県の取組と連携する必要はないのか。</p> <p>また、連携を行わない場合、石川県の中で加賀市だけが独自の取組を行っていくことになるが、そのことによる弊害はないのか。</p>
3 人材育成・リスクリング促進事業について	<p>(1) DX人材リスクリング促進事業と先端技術人材育成事業について</p> <p>この事業は、リスクリングに取り組む市内事業者への支援や、先端技術を活用できる人材を育成することで、生産性の向上や新産業の創出を図るものとされている。</p> <p>2つの事業は、双方とも、市内企業の人材育成を目的としており、内容についても重複している部分があるように思われる。</p> <p>そこで、それぞれの事業ごとに、市内のどのような企業を対象とし、どのような効果をもたらすことを期待しているのか。</p>
	<p>(2) KAGAものづくりラボ運営事業について</p> <p>KAGAものづくりラボは、平成30年度に加賀市イノベーションセンターがオープンしたときから、センター内のものづくりルームを会場とし、実施されている事業であると理解している。</p> <p>KAGAものづくりラボでは、これまで誰を対象とし、延べ人数ではなく実利用人数として、何人の市民に利用されているのか。</p> <p>また、どのような活動が行われ、どのような成果が出ているのか。</p> <p>さらに、来年度、事業内容を充実させるための計画があるのか。</p>

今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 人材育成・リスクリング促進事業について (つづき)	<p>(3) スタートアップ支援について</p> <p>スタートアップとは、革新的なアイデアで市場を新たに開拓し、短期的に成長する企業を指すものである。</p> <p>全国的、さらに世界的に見ると、スタートアップとされる企業には、誰もが聞いたことのある企業から、極めて小規模な企業まで、大変、数多くの企業が存在している。</p> <p>そこで、現在、加賀市内にはスタートアップと位置づけられる企業は存在しているのか。</p> <p>また、スタートアップ企業が加賀市で起業することで、例えば、税收や雇用など、どのような効果が見込まれるのか。</p>
4 新技術・新産業創出事業について	<p>(1) 都市デジタルツイン構築事業について</p> <p>都市デジタルツイン構築事業は、都市計画基本図を基礎として、道路台帳等の各種台帳をデジタルデータ化することで、雪害発生場所の予測等が容易になり、市民の命や財産への損害を減少できる効果があるとされている。</p> <p>市が保有する台帳をデジタル化するだけで、そのような効果があるとは考えにくいですが、具体的にどういったデータをデジタル化するのか。</p> <p>また、具体的なシミュレーション結果は、いつ頃、どのような形で示されるのか。</p> <p>あわせて、シミュレーションの活用の可能性を問う。</p>
	<p>(2) エアモビリティ等活用事業について</p> <p>エアモビリティ等活用事業では、その開発・研究・実験を行えるフィールドを提供し、新規ビジネスや新産業を創出するとされている。</p> <p>先頃、2025年の大阪・関西万博で空飛ぶクルマが運航されるとの報道もあったところであるが、将来的な本市におけるエアモビリティ活用のイメージや、来年度の取組内容について、所見を問う。</p>

今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 加賀温泉駅周辺整備について	<p>(1) 加賀温泉駅舎及び駅前広場について</p> <p>令和6年春の北陸新幹線加賀温泉駅開業に向け、現在、急ピッチで加賀温泉駅周辺の整備が進められている。</p> <p>令和5年度当初予算では、その関連事業費として、18億2,000万円余りを計上し、また、今年度の関連事業費は、20億2,000万円が措置されている。一般会計におけるこのような大型事業は、加賀市環境美化センター建設以来ではないか。</p> <p>そこで、加賀温泉駅舎をはじめ、周辺施設の整備に係る事業費の総額を問う。</p> <p>また、加賀温泉駅が真の加賀市の玄関口となるよう期待するが、その目的達成のため、どのようなコンセプトの下、周辺施設等の設計を行い、整備に当たり加賀市らしい工夫をどのように取り込みながら進めているのか、改めて問う。</p>
	<p>(2) 都市施設の整備の見直しについて</p> <p>高架下都市施設については、2度の入札不調を経て、ようやく今定例会に契約案件として、議案が提案された。</p> <p>今後、正式に契約が完了すれば、完成に向け工事が進められることになるが、できる限り早急に完成できるよう、全力で取り組んでいただきたい。</p> <p>ついては、今後の整備スケジュールの見直しについて問う。</p> <p>また、北陸新幹線加賀温泉駅開業時点において、どのような状態になっているのか。</p> <p>さらに、現在の仮設駅舎を延長して利用することになると思われるが、それに伴い追加される費用は発生するのか。</p>
6 ゆけむり健康村休業におけるジュニアクラブへの対応について	<p>突然の休業の発表により、ジュニアテニスクラブやジュニアスイミングクラブの子供たちや保護者から、競技を続けていく際の不安や失望の声を聞く。</p> <p>児童生徒の学校教育における社会体育活動等の観点から、教育委員会は体育施設をはじめ、小・中学校体育館など、代替施設へのフォローを行うべきと思われるが、所見を問う。</p>

今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目 (1)、①、ア）
7 優秀な医療人の育成事業について	<p>加賀市医療センターが将来を担う優れた医療人の育成のため、環境整備を行うとあるが、看護師特定行為研修施設の指定を受けることより、急性期病院としての加賀市医療センターは今後どのように地域医療に関わるのか。</p> <p>また、特定看護師の目標人数は何名であり、どのような診療の補助を可能とするのか。</p> <p>さらに、特定行為研修制度についての説明を求める。</p>

中谷 喜英 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 令和5年度当初予算について	<p data-bbox="502 360 1289 394">(1) 未来への夢と希望の投資戦略に込めた「想い」について</p> <p data-bbox="512 443 1433 555">一般会計当初予算は、実質で前年度当初比3.6%増の積極型とし、「人・インフラへの投資」へ重点的に配分し、デジタル田園都市国家の先導自治体となれるよう、投資戦略事業が盛り込まれている。</p> <p data-bbox="512 562 1433 674">新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが軽減され、社会が平常体制に移行する中、「投資戦略」を軸として編成された当初予算に込めた宮元市長の「想い」について尋ねる。</p>
	<p data-bbox="502 763 1402 797">(2) 予算編成における社会経済情勢の見通しと政策への反映について</p> <p data-bbox="512 842 1106 875">① 税収に見る社会経済情勢の見通しについて</p> <p data-bbox="512 920 1433 999">令和5年度の市税は前年度比で増加、市民税は10%伸ばし、市税全体で（当初ベース）、コロナ禍以前の95%程度まで戻してきた。</p> <p data-bbox="512 1005 1433 1155">予算編成方針での市税の減額見込み、加賀市中期財政計画での「経済情勢見通しは現状維持」の上方修正と捉えるが、当初予算の税収見込みの考え方と、この前提となる今後の経済情勢の見通しについて、所見を問う。</p>
	<p data-bbox="512 1245 847 1279">② 政策への反映について</p> <p data-bbox="512 1323 1433 1402">令和5年度の入湯税では、前年度比で減額。令和4年度3月補正予算でも減額し、コロナ禍前の6割程度までしか回復していない。</p> <p data-bbox="512 1408 1433 1487">観光費の令和5年度当初予算は、新幹線開業事業費を含めても、前年度比で減額となっている。</p> <p data-bbox="512 1494 1433 1606">宿泊産業は、市内で裾野の広い主要産業であり、税収から経済情勢をきめ細かく見通し、さらなる誘客対策を手厚く実施するなどの政策展開が必要ではないかと考えるが、所見を問う。</p>
2 加賀市学校教育ビジョンの推進について	<p data-bbox="502 1682 1201 1715">(1) 加賀市の学校教育ビジョンとその特徴点について</p> <p data-bbox="512 1760 1433 1910">加賀市の教育を、Well-beingの視点で変革していこうとする、アクションプランとして策定されたこのビジョンは、4つの柱ごとに、具体的な取組とスケジュールが示され、これに沿った当初予算事業が計上されている。</p> <p data-bbox="512 1917 1433 1995">そこで、加賀市学校教育ビジョンの求める教育の姿とその目的（ビジョンの実現で何が達成されるのか）について改めて説明を求める。</p> <p data-bbox="512 2002 1433 2080">あわせて、他の自治体には見られないような加賀市独自の取組などの特徴点についても尋ねる。</p>

中谷 喜英 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 加賀市学校教育ビジョンの推進について （つづき）	<p data-bbox="502 365 1002 398">(2) 教育ビジョン実現の戦略について</p> <p data-bbox="513 443 1433 595">改革の実現には、教職員の意識改革、市民や保護者、地域社会への説明、取組の実証、効果測定の方法、市民全体での共有など、プロセスと戦略次第で実現の度合いが異なると考えられ、こうした工夫が重要だと思うが、どのような戦略で臨むのか。</p>
3 スマートシティ推進について	<p data-bbox="502 685 1406 719">(1) リスキリング促進がスマートシティの実現に果たす役割について</p> <p data-bbox="513 763 1433 835">リスキリングは、個々の民間企業の取組としては理解するが、これを行政が支援することで、どのような公共の利益につながるのか。</p> <p data-bbox="513 846 1433 958">また、市において、スマートシティの実現につなげる必要があると思われるが、改めてリスキリングの概念と、これをスマートシティの実現につなげる具体的な仕組みについて説明を求める。</p> <p data-bbox="513 969 1433 1041">さらに、こうした取組を行おうとしている具体的な市内事業者や、その内容を把握しているのか。</p>
	<p data-bbox="502 1126 1086 1160">(2) デジタル田園健康特区推進事業について</p> <p data-bbox="513 1205 1433 1317">デジタル田園健康特区に指定されたことで、これを生かしたスマートシティ実現の加速、地域全体の浮揚に大きな期待が寄せられている。</p> <p data-bbox="513 1328 1433 1440">令和5年度の当初予算には、デジタル田園健康特区推進事業費として780万円が計上されているが、特区のスケールに比べると、小粒にとどまっている感がある。</p> <p data-bbox="513 1451 1433 1563">そこで、特区推進に当たっての構想の全体像やスケジュール、また、茅野市、吉備中央町との連携の状況など、現在の推進状況と今後の事業展開の具体的な見通しについて尋ねる。</p>

中谷 喜英 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 スマートシティの推進について（つづき）	<p>(3) 市民生活に直結したDX活用事業の構築について</p> <p>先端的な取組は、専門的な概念やアルファベット表記、略称が多く、スマートシティ政策そのものが、市民になかなか溶け込んでいないのが現状である。</p> <p>そこで、デジタル技術の手軽さや便利さを市民に実感してもらい、市民のロコミで広がっていくようなDX活用が構築できないか。</p> <p>さらに、普及率の高いマイナンバーカードを重ね合わせれば、市民生活にどんどん溶け込んでいくことが期待できる。</p> <p>例えば、災害・防災分野で避難所の受付や運営にDXを導入し、スマートホスピタルでもきめ細かくDXを取り入れることで、市民の実経験による理解が深まり、かつ、利便性が向上することが見込まれる。</p> <p>以上を踏まえ、今後どのような市民生活の場面でDX事業を展開しようと考えているのか、所見を問う。</p>
4 北陸新幹線加賀温泉駅の開業に向けて	<p>(1) 開業時の加賀温泉駅の姿とその最終形について</p> <p>加賀温泉駅高架下都市施設の整備は、資材調達や技術者確保が困難のため発注が遅れ、新加賀温泉駅の開業に間に合わない状況である。</p> <p>今定例会で、高架下都市施設建築工事の請負契約案件が追加提出され、今後の整備計画が具体的になったと思われるが、北陸新幹線開業時の加賀温泉駅の姿などは在来線も含めてどのようなになるのか、以下の5点について問う。</p> <ul style="list-style-type: none">・開業時の観光案内や伝統工芸の展示はどこで行うのか・工事中と思われる都市施設部分の目隠し・騒音などの施工状況や仮設駅舎の撤去状況・駅前広場の駅南側、駅北側の具体的な完成状況・遅れて完成する高架下都市施設の供用開始時期・開業後に仮設駅舎が撤去された最終的なガレリアの完成の姿並びにその時期

中谷 喜英 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 北陸新幹線加賀温泉駅の開業に向けて（つづき）	<p data-bbox="504 365 916 398">(2) 未来型商業エリアについて</p> <p data-bbox="512 443 1050 477">① 未来型商業エリアの進捗状況について</p> <p data-bbox="512 521 1430 600">市の中央エリア発展のリーディングプロジェクトとして位置づけられており、市民や事業者から期待の声が多い。</p> <p data-bbox="512 607 1430 685">これまで、令和3年12月に推進本部が設置され、令和4年度当初予算では構想策定費を計上し、推進を図っている。</p> <p data-bbox="512 692 1430 920">しかしながら、令和5年度当初予算では、未来型商業推進事務費と事業推進出向者受入負担金のみの計上となり、あまり進展が見られないように思える。令和4年度の構想策定事業で、具体的な農業振興区域除外の形や「未来型」の具体的なイメージなど、商業エリアの姿がどの程度まで見えてきたのか、進捗状況と今後のスケジュールについて問う。</p>
	<p data-bbox="512 1003 1050 1037">② 駅北側居住エリアの位置づけについて</p> <p data-bbox="512 1081 1430 1238">駅北側の未来型居住エリアは、昨年、旧ユートピア加賀の郷の所有者が代わり、再開発の構想があることで、駅南側を優先する方針に転じたと、月刊誌で取り上げられているが、この経緯と現時点の認識を尋ねる。</p>
	<p data-bbox="504 1323 1145 1357">(3) 開業を意識した施設整備・活用戦略について</p> <p data-bbox="512 1402 1430 1559">開業を見据え、市内の回遊性を高めることなどを意識して進められてきた施設整備として、大聖寺鴻玉荘、山代温泉の（仮称）萬松園公園、山中温泉の旧よしのや依緑園別荘、片山津温泉の柴山瀉遊歩観光ルートなどが挙げられるが、それぞれの進捗について問う。</p> <p data-bbox="512 1565 1430 1722">また、これらを新たな観光資源として生かすには、施設相互、既存施設との連携を十分に図る必要があるが、複数の所管部にまたがっている。開業効果を十分に引き出すための連携の仕方を含め、開業に当たっての施設の活用戦略を問う。</p>

中谷 喜英 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 企業立地関連事業 について	<p data-bbox="504 365 943 398">(1) 新保北地区産業団地について</p> <p data-bbox="515 443 1430 555">昨年の議会報告会では、「工場を誘致して若者が働く場所を確保してほしい」といった切実な意見が多く、こうした受皿づくりは急務である。</p> <p data-bbox="515 562 1430 640">産業団地の拡張とも言えるこの場所を選定した理由について、尋ねる。</p> <p data-bbox="515 647 1430 797">また、場所選定の要素として、造成までにいたずらに時間を要してはならないことが挙げられる。令和5年度予算説明会資料には「令和6年度以降 農振除外後に造成工事着手」とあるが、現時点での農振除外はいつ頃を見通しているのか。</p> <p data-bbox="515 804 1430 882">あわせて、現在、具体的な企業からのニーズや立地検討事例があるのか。</p>
	<p data-bbox="504 969 999 1003">(2) 次世代型産業パーク事業について</p> <p data-bbox="515 1048 1430 1126">令和5年度予算説明会資料では漠然とした内容までしか示されていないが、次世代型産業パークとはどのようなものか。</p> <p data-bbox="515 1133 1430 1211">また、「次世代」とは何を意味し、その設置目的について、認識を尋ねる。</p> <p data-bbox="515 1218 1430 1296">あわせて、候補地はある程度洗い出しされているのか、整備手法やその規模など現時点での想定を問う。</p>

上田 朋和 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 リスキリングの促進について	<p>(1) DX人材リスキリング促進事業について</p> <p>DX人材リスキリング促進事業の目的について問う。 またこの事業における、以下の3事業の事業内容について問う。</p> <ul style="list-style-type: none">・コンサルティング支援・研修事業・講座受講支援事業・プロモーション事業
	<p>(2) 加賀市リスキリング宣言及び連携協定について</p> <p>市では、令和4年9月28日に加賀市リスキリング宣言を行った。 また、12月23日には「加賀商工会議所、山中商工会、市内金融機関及び連合石川かが地域協議会との連携協定」を締結した。 そこで参画した団体・金融機関・労働団体に対して、どのようなことを求めるのか。</p>
2 住宅支援事業について	<p>(1) 住宅地開発支援事業について</p> <p>住宅地開発等を行うための制度や取組をコンソーシアムによる官民連携で創設し、住宅地や住宅の整備を民間資本を導入して行うとあるが、どのような企業や団体を想定しているのか。 また、従来の民間単独での住宅地開発との違いについて問う。</p>
	<p>(2) 新婚生活応援事業について</p> <p>① 概要及び助成対象について</p> <p>新婚生活応援事業の概要を問う。 助成対象となる新婚とは結婚何年目までと考えているのか。 また、助成対象年齢を39歳以下とした理由及び29歳以下と39歳以下で補助額を変えた理由を問う。 さらに、対象年齢は夫婦どちらの年齢を対象にするのか。</p>

上田 朋和 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 住宅支援事業について （つづき）	② 想定件数とPR方法について 本事業における助成件数をどのくらいと試算しているのか。 また、よい事業なので多くの方々に知っていただく必要があると思われるが、PRや周知方法について、広報かがやホームページ、SNS、ケーブルテレビ以外の方策を考えているのか。
3 歴史都市大聖寺について	(1) 歴史的風致維持向上計画に係る令和5年度の事業内容について 令和5年度は524万円の予算で江沼神社庭園整備事業を行うこととなっているが、事業内容を示せ。 また、令和5年度には本事業のほかに整備事業を行うのか。
	(2) 今後の事業計画について 令和6年度以降の事業計画について、江沼神社庭園や錦城山、その他の事業はどのようなスケジュールで、どのような整備を考えているのか。
	(3) 大聖寺城址について 大聖寺城址が国指定となることに向けた取組をすべきと考えるが、現在までの進捗状況と今後の見通しについて問う。
	(4) 組織体制について 10年間の計画の中で、既に2年が経過したが、地域からは形が見えてこないとの意見も多い。 加賀市歴史的風致維持向上計画を進めていくためにも部局を横断した組織体制や、地元を含めた専門家会議などを設置する必要があると考えるが、所見を問う。
4 加賀温泉郷マラソン開催事業について	(1) 今年の申込み状況について 今年は締切りを延長するなどしてきたが、募集定員に達しなかった要因を問う。

上田 朋和 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 加賀温泉郷マラソン開催事業について（つづき）	<p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>3月12日に行われる能登和倉万葉の里マラソン2023では「ワクチンの接種証明（2回以上）」または「抗原検査等による陰性の証明」の確認はしないことを決定している。</p> <p>加賀温泉郷マラソン2023では「3回目のワクチン接種を済ませるか、大会72時間前（4月13日）から大会当日までの間にPCR検査等（抗原定性検査は対象外）を実施し、陰性であることを確認すること」となっている。</p> <p>同じ時期に行われるマラソン大会で、対応が大きく異なるが、要件の変更の予定はあるのか。</p>
	<p>(3) 今後について</p> <p>現在の加賀温泉郷マラソン2023の制限時間は6時間であり、金沢マラソン2023や能登和倉万葉の里マラソン2023は7時間である。</p> <p>制限時間の延長を求める声もある中、制限時間延長にはコースや交通規制時間の変更も必要になると思うが。当局としてどのように考えているのか。</p> <p>また、来年3月31日には、ふくい桜マラソン2024が開催される。同時期での開催となるため、加賀温泉郷マラソンの参加者数にも大きな影響を与えると思われる。今から参加者の確保や参加者を増やすための方策を考える必要があると思われるが、どのように考えているのか。</p>

山口 忠志 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 財政について	<p data-bbox="502 365 943 398">(1) 令和5年度予算編成について</p> <p data-bbox="513 445 1433 716">令和4年12月定例会において、世界情勢や原油価格・物価高騰の影響が市民生活はもとより予算編成にも大きく影響し、厳しい編成方針が求められるのではないかとこの質問に対し、事業の選択と集中をさらに強化し、来年度の成長戦略である人への投資に予算を重点配分することなどを考えると財政状況はさらに厳しく、歳出削減のシーリングを設定しないで事業全体の中止や延期も含め、予算編成を行っていくとの答弁であった。</p> <p data-bbox="513 725 1433 797">令和5年度の予算編成において、金額ベースと事業内容を含め、幾つの事業の廃止・延期・縮小を行い、予算を捻出したのか。</p>
	<p data-bbox="502 887 855 920">(2) 財政調整基金について</p> <p data-bbox="513 967 1433 1117">令和3年度から令和7年度までの加賀市中期財政計画が令和2年度に示され、コロナ禍の影響も鑑みたとはいえ、財政力を示す数値目標が大きく見直されており、財政調整基金においては、従来の「20億円以上を維持」から「9億円以上を維持」に見直されている。</p> <p data-bbox="513 1126 1433 1236">12年ほど前に財政調整基金は幾らくらいが適切と考えているのかという質問に対し、標準財政規模の約8%程度が適切ではないかとの答弁があり、当時は初めて具体的な見解が出たと感じた。</p> <p data-bbox="513 1245 1433 1395">そうだとすれば、加賀市の今の標準財政規模は令和3年度決算で約190億円であり、約15億円になると思われるが、当市として財政調整基金の基金残高は幾らくらいが適切と考えているのか、その考え方も含め、所見を問う。</p>
2 加賀市観光戦略プランの2024年以降の市内宿泊施設入込客数の目標について	<p data-bbox="513 1485 1433 1594">加賀市の2022年の観光入込客数は、日帰り客も含め約104万人であったが、令和5年度には、インバウンドのお客さんも含めた多くの観光客が来ることを期待する。</p> <p data-bbox="513 1603 1433 1834">先日、第3次加賀市観光戦略プランが示されたようだが、それによると2024年の市内宿泊施設入込客数は約215万人を目標としている。言わずと知れた加賀市において、北陸新幹線加賀温泉駅開業の年であるが、この目標数値は県内・県外・関西圏・中京圏・関東圏などの地域別や、自家用車・飛行機・新幹線などの移動手段などを分析し、積算したのか。</p> <p data-bbox="513 1843 1433 1915">また、積算したのであれば、北陸新幹線加賀温泉駅開業の効果をどのように数字として反映したのか。</p> <p data-bbox="513 1924 1433 2033">さらに、関東圏からのお客さんは従来より増えると考えますが、関西圏・中京圏からの乗換えということも踏まえ、訪れる観光客数をどのように捉えているのか。</p>

山口 忠志 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 加賀市下水道事業会計の決算について	<p>加賀市下水道事業会計において、公営企業会計に移行してからも企業債の償還財源の不足により、令和3年度決算では加賀市水道事業会計から1億9,600万円を長期借入し、累計で約4億1,700万円となった。</p> <p>施設の統廃合による効率化を見据え、令和6年度から大聖寺川浄化センターが石川県から移譲されることに伴い、片山津地区の加賀市浄化センターを廃止し、一本化することはよいことではあるが、これまでコロナ禍であったとはいえ、収支改善に取り組んでいるようには思えない。</p> <p>加入率向上・料金改定が急務と考えるが、所見を問う。</p>
4 国民文化祭について	<p>今秋に開催される国民文化祭は、8つの事業を柱に展開することであるが、県は事業費10億円を超える予算と多くの事業を、金沢市は2億円以上を投じて23の事業をそれぞれ予定しており、県と金沢市は事業が相まって活況を呈するだろうと思われる。</p> <p>加賀市においては、北前船や深田久弥・中谷宇吉郎など、よい素材を生かした事業であるとは思いますが、予算的にも乏しく、事業効果を得ることができると考えているのか。</p> <p>また、これらの各事業ごとの集客数を設定すべきであり、プレ北陸新幹線加賀温泉駅開業事業として、加賀市を強く発信すべきと考えるが、所見を問う。</p>
5 未来型商業エリアについて	<p>先端技術を活用した新しいサービスや体験ができ、地域内循環の取組を行う新たなまちとして、加賀温泉駅南側を未来型商業エリアと位置づけ、今後取り組んでいくとのことであるが、未来型商業エリアとはどのようなものなのか。</p> <p>また、現段階での構想と具体的にイメージできる商業施設として、どのようなものがあるのか。</p>

東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 子育て支援・教育について	<p>宮元市長は就任してから、次代を担う若者や子供たちのために、子育て支援・教育環境の整備を行うことが、加賀市を持続可能な都市としていくための最重要項目であると掲げ、これまでにあらゆる施策を進めてきた。</p> <p>その結果、現在では県内トップクラスの子育て支援や教育環境が整っており、子育て支援で全国的に有名な明石市と比べても遜色がないと考えるが、これまでどのような成果や効果があったのか。</p> <p>また、それを踏まえて令和5年度は新たにどのような取組を考えているのか。</p> <p>さらに、他の自治体に負けない子育て支援や教育環境を推進していく上で、人口減少対策の重要な財産と位置づけ、シティプロモーションとして、本格的にCMやY o u T u b e、SNSなどの媒体を使い、市内外にもっと発信すべきと考えるが、所見を問う。</p>
2 電気料金の値上げに対する施設対応について	<p>(1) 市の施設について</p> <p>電気料金の高騰が続いている中、施設を管理するに当たり、どのように試算して予算づけしたのか。</p> <p>また、5月以降大幅な値上げが予想されているが、その費用についても考慮しているのか。考慮していないのであれば、今後どのように対応していくのか。</p>
	<p>(2) 市の展観施設について</p> <p>指定管理者が管理している施設では、使用料金の値上げや休館日の増加、開館時間の短縮などの対応が簡単にできないと思われる。</p> <p>事業者を守るため、全ての施設に対して試算し、費用を把握した上で対応すべきと考えるが、どのように対応していくのか。</p>
3 ふるさと納税について	<p>(1) 実績について</p> <p>令和4年度の現在までの実績を示せ。</p> <p>また、寄附金はどのように活用したのか。</p> <p>あわせて、過去3年間と比較した評価についても問う。</p>

東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 ふるさと納税について (つづき)	<p>(2) 今後の拡充・強化策について</p> <p>燃料費高騰などで厳しい財政状況の中、あらゆる課題を解決していく手段として、ふるさと納税の取組を拡充・強化することが重要であるとする。</p> <p>北海道紋別市などの成功事例のある自治体を調査し、新しい商品の開発やPR(利用者が多いサイトへの登録)など、効果的な取組を行う必要があるとするが、どのような拡充・強化策を考えているのか。</p>
4 マイナンバーカードを活用した救急業務について	<p>(1) 実証実験の内容と件数について</p> <p>総務省消防庁から委託を受け、マイナンバーカードを活用した救急業務の実証実験を行ったと聞くが、実際に行った実証実験の内容及び件数を示せ。</p>
	<p>(2) 今後の課題について</p> <p>実証実験を行った結果、メリットやデメリットについてはどのようなものがあったのか。</p> <p>また、成功事例や実際に起きた不具合など、実装に向けた今後の課題を問う。</p>
5 北陸新幹線加賀温泉駅開業イベントについて	<p>(1) イベントスペースについて（持込み資料No. 1～4）</p> <p>高架下都市施設の建設が遅れることを考慮し、北陸新幹線駅舎南側の温泉中央口を出た場所に、おもてなしや物販などを行えるフリーのイベントスペースを確保することが必要であるとする。</p> <p>開業時まで仮駅舎との間にある倉庫などを撤去し、スペースをつくることはできないのか。</p> <p>また、仮駅舎との連携通路は残すとのことであるが、同時にスペースとの行き来ができるよう、通路の外壁を取り外すことができないのか、所見を問う。</p>

東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 北陸新幹線加賀温泉駅開業イベントについて （つづき）	<p>（2）開業当日のイベントについて</p> <p>当初予算に開業当日のイベント事業費が計上されていないが、100年に一度のチャンスを生かすための開業当日のイベントについて、どのように考えているのか。</p> <p>また、駅周辺のにぎわいを創出するため、観光客向けのイベントだけではなく、首都圏(台東区など)の事業者とも連携し、イベントに参加してもらい、市民も観光客も楽しめるイベントを企画してはどうかと考えるが、所見を問う。</p>
6 動橋駅再生事業について	<p>令和4年度に調査、検討を行う事業費として、100万円の予算を計上していたが、新型コロナウイルスの影響や地域から具体的な案が出せなかったこともあり、進捗していないのが現状である。</p> <p>令和5年度の予算には、動橋駅再生事業についての項目が見当たらないが、その事業費はどうなったのか。</p> <p>また、昨年12月2日に動橋地区活性化を考える会から、約2年間かけて協議してきた結果を踏まえ、「子育て世代が住みよいまち」というビジョンを掲げた経過報告並びに提言書が提出されたと思うが、この事業について、今後の方針を問う。</p>

荒谷 啓一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 令和5年度当初予算主要事業等の概要について	<p>(1) DX人材リスクリング促進事業について</p> <p>加賀市は昨年9月に加賀市リスクリング宣言を行い、12月には市を含む8者がその促進に関する連携協定を締結した。</p> <p>企業等の経営・人材戦略の下、従業員が今後の新たな業務などで必要となるスキルや知識を習得することにより、失業なき成長産業への労働移動の実現に向け取り組むということであるが、山中商工会や加賀商工会議所に加盟する多数の中小零細企業や個人商店、職人の方々などは対象となるのか。</p> <p>また、対象となるのであれば、具体的な事例を示せ。</p>
	<p>(2) 山中温泉地区の都市再生整備計画事業について</p> <p>今年度の詳細設計を終え、整備費が計上されているが、様々な議論や要望を経て、(仮称)菊の湯広場、(仮称)湯の本町広場、大獅子展示施設、案内サインの各整備内容は最終的にどのようなになったのか。</p> <p>また、それぞれの整備日程も併せて問う。</p>
	<p>(3) スポーツ施設及び加賀市文化会館の整備について</p> <p>①スポーツ施設整備事業について</p> <p>事業目的によると、老朽化により不具合が生じている各スポーツ施設について、利用者の安心・安全を確保及び利用者の拡大を図るため、改修等を行うとのことである。事業内容として3つの項目が挙げられているが、工事費としては加賀体育館屋根改修工事のみである。令和5年度予算説明資料の各施設修繕費を合わせても少額であると感じるが、所見を問う。</p>
	<p>②加賀市文化会館施設修繕について</p> <p>県内有数の規模を誇る加賀市文化会館では、ロビーの空調設備が近年故障したままであり、大ホールの空調にも影響を及ぼしている。利用申込時には空調設備の不具合をあらかじめ承知いただいているというのが現状である。</p> <p>令和5年度当初予算では、施設修繕費が計上されているが、その内容を問う。</p>

荒谷 啓一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 令和5年度当初予算主要事業等の概要について （つづき）	<p>（4）未来型商業エリア推進事業について</p> <p>加賀ライズタウン構想の一環として、若い世代が希望を持ってチャレンジでき、若者や若いファミリーをはじめ、誰もが行きたくなくなるような、楽しく時間を過ごせるにぎわいのある商業施設等の実現を目指すとなっている。</p> <p>例えば、令和5年度当初予算に水泳プール整備検討調査費として、整備等に関する予算が計上されている屋内プールなどは、アクセスの良くない加賀市中央公園からこのエリアに移す方向で検討すべきと考えるが、所見を問う。</p>
2 山中温泉ゆけむり健康村について	<p>（1）休業期間について</p> <p>2月に行われた公募型プロポーザルの募集要項において、基本的に改修や修繕等に係る経費、管理運営に係る費用は事業者負担とされており、また、施設活用に関する計画を必要に応じて示したいと報道があった。しかしながら、4月からの休業は今後の事業者との企画提案内容の協議期間や事業開始までの設備改修・工事等の準備を念頭に置いており、当分の間だけと告知されていることなどから、温浴施設・フィットネス利用者は前向きに捉え期待感を持っている。</p> <p>これらのことから休業期間のめどについて、所見を問う。</p>
	<p>（2）道の駅山中温泉ゆけむり健康村について</p> <p>平成17年3月に既存施設に駐車場整備や24時間トイレ、郷土物産館（道路情報、観光案内所併設）などが新たに整備され、施設全体が道の駅山中温泉ゆけむり健康村として国の登録を受けた。</p> <p>その後、電気自動車急速充電器やサイクリングステーションも併設され、市内唯一の道の駅として、広域的利用の観点から、道路（国道）利用者への必要最小限の休憩機能である駐車場とトイレを暫定的に開放することはできないのか、所見を問う。</p>
3 大学等誘致について	<p>昨年の議会報告会において、参加者からの意見・提案等に、「大学、工業専門学校を新設してほしい」との意見があり、当局からは、「高等学校卒業後の進路の一つとして、人口流出対策にも資すると考えられることから誘致に取り組んでいく」というような内容で回答があり、それを基に議会から議会報告会を開催した10地区に回答を行っている。</p> <p>地方サテライトキャンパスなどでの誘致を含め、今後の取組について、所見を問う。</p>

林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 令和5年度当初予算について	<p>(1) ムーンショットについて</p> <p>当初予算編成前の繁忙時期に、今回初めてムーンショットという政策課題を設定したその理由と、動機について尋ねる。</p>
	<p>(2) 先送りした事業について</p> <p>今回の予算編成に当たり、先送りした事業も数多くあるのではないかとと思われるが、現段階で今後の補正予算で対応するものにはどのような事業があり、どの程度の歳出規模であるのかを示せ。 あわせて、令和6年度に先送りした事業があれば示せ。</p>
	<p>(3) 今後の財政運営について</p> <p>財政調整基金残高は加賀市中期財政計画で定めた9億円を維持し続けなければいけではなく、将来のために確実に積み上げていく努力も必要であると考え。 令和6年度以降、どのような方針でこの財政危機を乗り越ろうとしているのか、現段階での考えを問う。</p>
2 1年後に控えた北陸新幹線加賀温泉駅開業について	<p>(1) 交通系ICカードの導入について</p> <p>首都圏や関西圏では、ほぼ全ての利用者がSuicaやICOCAなどの交通系ICカードを使っていると思われる。加賀市内の路線バスやタクシー、乗合タクシーなどを利用する際、そういった交通系ICカードは利用できるのか。 利用できないということであれば、事業者に補助金を出してでも整備促進を図る必要があると思うが、所見を問う。</p>
	<p>(2) 主要観光地での駐車場整備について</p> <p>観光客にとっては、レンタカーが市内周遊に最も便利な移動手段であるが、市内三温泉や大聖寺地区などを見渡すと、場所によっては、駐車場が不足しているところもあるように思う。 この機会に、山代地区、片山津地区、山中地区、大聖寺地区には、新たな駐車場整備が必要でないかと考える。 特に、大聖寺地区においては、今後、錦城山や江沼神社庭園整備が行われることもあり、観光客の回遊拠点という視点でも、駐車場整備をセットで考える必要があると思うが、所見を問う。</p>

林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 1年後に控えた北陸新幹線加賀温泉駅開業について（つづき）	<p>(3) 加賀温泉駅前のタクシーについて</p> <p>加賀温泉駅前には、午後4時を過ぎるとタクシーがないとの声を聞く。この状況は、憂慮すべきと思うが、北陸新幹線加賀温泉駅開業を控え、今後、どのような対応を行うのか。</p>
	<p>(4) 北陸新幹線加賀温泉駅開業関連事業について</p> <p>① 事業の全体像について</p> <p>北陸新幹線加賀温泉駅開業を1年後に控え、気合の入った事業が目白押しであろうと思っていたが、観光誘客を目的としたソフト面での事業費が1,903万円となっており、ほぼ半分の事業が従前からの継続事業であり、目新しさが全く感じられない。僅かこれだけの事業費で十分な効果が得られると考えているのか。</p> <p>また、今後の補正予算で、どのような誘客促進の事業が計画されているのか。</p>
	<p>② 上野駅物産販売店舗出店事業について</p> <p>物産販売店舗を開催することだが、開催地が東京駅ではなく、なぜ上野駅に出店することになったのか。</p> <p>上野駅だと、インパクトや各方面に与える印象が、全く違うように感じるが、上野駅での開催となった理由について尋ねる。</p>
3 水泳プールについて	<p>加賀市中央公園の屋内水泳プールは、令和5年度当初予算に、100万円の水泳プール整備検討調査費が計上されているが、今さら何を検討して調査するのか、調査業務の詳細な説明を求める。</p>
4 温泉旅館せきやの解体について	<p>解体に当たり、以下の5点について問う。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和5年度当初予算ではなく、なぜ、令和4年度3月補正予算で実施設計費を計上するのか。・市が解体を行う必要があるのか。・報酬として55万円が計上されているが、誰に対するどのような報酬なのか。・解体後、どのような跡地活用を想定しているのか。・解体と跡地の整備事業費は概算で幾らぐらいを想定しているのか。 <p>また、実施設計の結果、市が解体しないという選択肢はあるのか。</p>

林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 スマートインクルージョン推進事業と生涯活躍のまち構想推進事業について	<p>来年度の予算案には、この2つの事業費が計上されていないように見受けられるが、これらの事業を中止するに至った理由を問う。</p> <p>また、生涯活躍のまち構想推進事業の中止に伴い、旧山中温泉医療センター跡地の利活用はどうか。</p> <p>万が一、振出しに戻るなどということになれば、3回の認知症国際アジア会議in加賀は何だったのか、宮元市長の所見を問う。</p>
6 子ども・子育て施策の推進について	<p>(1) こども家庭庁発足に伴う対応について</p> <p>加賀市においても、従前から市民健康部と教育委員会が連携し、施策展開しているが、国の動きに合わせて、組織の見直しは考えていないのか。</p> <p>また、小松市では、この4月からこども家庭部を設置するとの報道があったが、加賀市では、国家レベルでの最重要施策である子ども・子育て施策の一元化への対応は考えないのか。</p>
	<p>(2) 第2期家庭教育支援推進計画について</p> <p>先般パブリックコメントを行っていた第2期家庭教育支援推進計画（案）では、「加賀市の子ども・子育て施策の推進に当たっては、子ども・子育て支援事業計画や教育振興基本計画を踏まえ整合性を図りながら、家庭教育の支援を推進していく」との記載がある。</p> <p>このような内容ならば、加賀市子ども・子育て支援事業計画や加賀市教育振興基本計画と同じような内容になり、それらの計画で十分担保されているのではないかと考える。</p> <p>重複している計画を、時間をかけて幾つもつくる必要はなく、各計画のスリム化を図り、分かりやすくすれば良いのではないかと考える。</p> <p>計画策定の根拠となる加賀市家庭教育支援条例の必要性も含め、改めて島谷教育長の所見を問う。</p>

上野 清隆 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 加賀市学校教育ビジョン推進事業について	<p>（1）進め方について</p> <p>加賀市学校教育ビジョンを進めるに当たり、現場の教員の不安や負担が懸念されるが、どのように対応・対処するのか。</p> <p>また、加賀市学校教育ビジョンを円滑に進めるためには、説明会の開催や広報等での周知などにより、保護者や市民の方々にビジョンを理解してもらうことが必要と考えるが、所見を問う。</p>
	<p>（2）特別支援学級について</p> <p>加賀市学校教育ビジョンを進めていく中で、特別支援学級はどのような位置づけになるのか。</p>
	<p>（3）コミュニティスクールへの移行について</p> <p>具体的な取組内容を示せ。</p> <p>また、学校運営協議会を設置するとのことであるが、PTAなどの既存の組織とはどのように違うのか。</p>
2 大聖寺駅前の整備について	<p>昨年、大聖寺駅舎を大聖寺ゲートウェイとしてベーカリーカフェやコワーキングスペースを併設した複合施設が整備されたが、大聖寺駅前に関しては、何も整備されていない。</p> <p>大聖寺駅前について、イベント等の開催ができるような広場を整備し、地域の活性化やにぎわいの拠点となるよう整備してはどうかと考えるが、所見を問う。</p>
3 幼児教育の質向上事業について	<p>「子どもたちが主体的に活動し、それぞれの個性を引き出す保育・教育を推進する」とあるが、事業の内容を具体的に示せ。</p> <p>また、加賀市学校教育ビジョンとどのように連携を図るのか。</p> <p>さらに、保育園で求められる課題解決の中にある、特別な配慮を必要とする幼児への支援について、支援の具体的な内容を示せ。</p>
4 いきいきランドかがの屋外グラウンドについて	<p>屋外グラウンドの今年度とコロナ禍前の年間利用者数を示せ。</p> <p>また、主にサッカーでの利用が多いと思われるが、その際、スパイクでの利用を禁止していると聞く。なぜ、禁止しているのかその理由も併せて示せ。</p>

上野 清隆 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 THU JAPAN開催支援事業について	<p>(1) イベント開催助成費と概要について</p> <p>イベント開催助成費として予算計上されている500万円はどういった費用なのか、内訳を示せ。</p> <p>また、このイベントの概要についても、併せて示せ。</p>
	<p>(2) 市内企業との連携や産業の創出などについて</p> <p>事業の内容では、市の産業・経済・文化の活性化や企業による新たな産業・サービスの創出を図るとあるが、市内企業とどういった形で連携を図っていくのか。</p>

中川 敬雄 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 北陸新幹線加賀温泉駅開業関連事業について	<p>開業まであと1年と迫ってきているが、残念ながらその気運が高まっているとは思えない。</p> <p>その要因の1つとして、駅前の整備が中途半端なままでの開業になることだと思われる。そういった状況の中、大規模なイベントを開催する団体に開催費用の一部を助成するとのことだが、どのような時期に、どの場所で行うことを想定しているのか、その概要を示せ。</p>
2 加賀温泉駅周辺施設整備事業について	<p>福井県芦原温泉駅の西口にぎわい施設「アフレア」が今年の3月19日にオープンする。それに引換え、加賀温泉駅ではようやく北陸新幹線高架下都市施設の建築工事事業者が決まるという段階であり、そこが完成するまで、現在の仮駅舎を使うと聞いている。</p> <p>当初から屋根施設の建設は遅れるとは聞いていたが、駅前施設のシンボルとなる温泉中央口側の屋根施設等は、今後どのようなスケジュールで完成するのか。</p> <p>また、芦原温泉駅のように、にぎわい施設の愛称などは決めるのか。</p>
3 北陸新幹線金沢・敦賀間開業の際の福井県との連携について	<p>来春の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に伴い、その開業効果を最も生かそうとしているのは、隣県の福井県のように思われる。県都である金沢市までの開業が終わっている石川県と比べるとそこは仕方がないように思うが、加賀市にとっては100年に一度の大プロジェクトであることには変わらない。</p> <p>石川県との連携だけではなく、福井県との連携をもっと模索すべきだと思うが、所見を問う。</p>
4 JR西日本のサイコロきっぷについて	<p>(1) この企画の当局の関与について</p> <p>JR西日本のサイコロきっぷという企画が大変好評だったようだ。全国旅行支援もあり、加賀温泉駅に若い年齢層を中心とした多くの方が訪れており、コロナ禍で冷え込んでいた温泉地に多くの観光客を呼び込む結果となった。</p> <p>市当局はこの企画に対し、どのように関わり、市内の観光協会等も含め、この情報をどこまで周知していたのか。</p> <p>また、その経済効果について、どのように分析しているのか。</p>
	<p>(2) 企画継続に向けた働きかけについて</p> <p>今回の反響を受け、各所からぜひまたやってほしいという声が上がっている。ぜひ、企画の継続へ向けた働きかけを行ってほしいと考えるが、所見を問う。</p>

中川 敬雄 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 歩道の除雪について	<p>J R西日本のサイコロきっぷでたくさんの観光客が訪れていた時、加賀温泉駅周辺を歩いて移動する人たちが目についた。</p> <p>ちょうど雪が降って間もない時期だったため、歩道に大量の雪が残っており、車道をキャリーケースを持って歩く人が多く目についた。</p> <p>車道の除雪で大変な部分はあると思うが、せめて加賀温泉駅周辺の歩道だけでも観光客のために除雪すべきだと思うが、所見を問う。</p>
6 事業者応援給付金事業（物価高騰対策分）について	<p>令和4年12月補正予算に事業者応援給付金事業（物価高騰対策分）が盛り込まれているが、まだその事業を知らない事業者も多いようだ。</p> <p>金額は小さいとはいえ、多くの事業者に周知すべきだと思うが、現在の申請状況を問う。</p> <p>また、このような事業を行う場合、周知の方法が重要だと思うが、どのようにして周知しているのか、その周知方法についても併せて問う。</p>
7 加賀市学校教育ビジョンについて	<p>加賀市学校教育ビジョンは非常に興味深い内容であるが、これを読んで思うことは、求められる教師の役割が大きく変わるのではないかとということである。</p> <p>加賀市学校教育ビジョンにおいて、どのような教師の在り方を考えているのか。</p> <p>また、教師へのサポートも必要になるのではないかとと思うが、所見を問う。</p>
8 ヘルメットの着用努力義務化について	<p>（1）啓発について</p> <p>道路交通法の一部改正により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者に、乗車用ヘルメットの着用が努力義務化される。</p> <p>事故の際、ヘルメットを着用していない時の致死率は、着用している時と比べて2.3倍も高くなっているが、残念ながらそれらに対する認識はまだ少ないように思われる。</p> <p>自転車利用者に、ヘルメットの着用をもっと啓発すべきだと思うが、所見を問う。</p>

中川 敬雄 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
8 ヘルメットの着用 努力義務化について （つづき）	<p data-bbox="504 365 999 398">(2) 中学生のヘルメット着用について</p> <p data-bbox="515 443 1431 555">中学生から高校生になる際に、ヘルメットを着用していない理由の一つとして、現在の中学生が着用しているヘルメットが格好悪いというイメージがあるためだと思う。</p> <p data-bbox="515 562 1431 636">法律の改正に合わせ、それをカッコいいものに変えることは検討しないのか。</p>

若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 旧黒崎小学校フリースクール及び旧山中看護学校生徒宿舎との契約について	<p>(1) 旧黒崎小学校フリースクールの教育面での公益性・公共性について</p> <p>財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例には、「公用若しくは公共用又は公益事業の用に供するときは、無償で貸し付けることができる」とあるが、加賀市教育総合支援センター内の「のぞみ教室」と比べてみても教育面での公益性・公共性が見えてこないが、どの部分が教育面での公益性・公共性に当たるのかを示せ。</p>
	<p>(2) 地元住民の理解を得ることについて</p> <p>旧黒崎小学校の無償貸与契約を交わす際、「地元住民の理解を得られること」を市からお願いしたと聞くが、昨年11月30日の橋立地区市政懇談会でも区長からは住民の理解を得られていないと思われる内容の質問が多かった。</p> <p>住民の理解を得られていない状態で契約したこと自体、誠に遺憾で契約を白紙にすべきと考えるが、今後、住民の理解を得るために、どのようなことをしていくのか。</p>
	<p>(3) 政治活動に関係していないことについて</p> <p>市民から頂いたチラシから見える、株式会社イシキカイカクと参政党本部との関係において、株式会社イシキカイカクはまさに党の中核機関であり、組織活動費が参政党本部から支払われ、その代表が国会議員の神谷宗幣氏であることからすれば、株式会社イシキカイカクが、フリースクールや私塾に携わっていることは教育の中立性を侵し、政治介入であると思われる。</p> <p>旧黒崎小学校及び旧山中看護学校生徒宿舎の貸与契約条件には「政治活動に関係していないこと」とあるが、今の契約では市民の方に示しがつかいないと考えるが、次年度の契約はどのようなになるのかを示せ。</p>

若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 大聖寺ゲートウェイについて	<p>(1) 実績・現状及び報告書作成までの過程について</p> <p>オープンから9か月がたとうとしているが、市内駅等活性化調査検討業務最終報告書に記載がある想定に対し、これまでの実績・現状はどのようなになっているのか。</p> <p>また、実績・現状が市内駅等活性化調査検討業務最終報告書とかけ離れたものであれば、地域の実情に見合っていないと思われるが、検討委員会や地元との協議などをしっかり行った上で最終報告書を作成したのか、報告書作成までの過程を示せ。</p>
	<p>(2) 株式会社DK-POWERについて</p> <p>市内駅等活性化調査検討業務最終報告書の中で、市場調査をするのであれば、実際にはかなりの費用がかかると考えるが、株式会社DK-POWERによりどのような市場調査が行われ、予算がどのくらいかかったのか。</p> <p>また、株式会社DK-POWERの定款を示し、もし、定款に記載された市場調査の実績が見合っていないのであれば、駅の市場調査に携わること自体が不適切であったと考えるが、所見を問う。</p>
3 連携協定について	<p>市は、令和2年度から令和4年度までの間に民間団体と幾つの連携協定を結んでおり、担当課別の件数が多い部署はどの課であるのか。</p> <p>また、通常の業務以外に連携協定の業務もこなす必要が出てくるため、職員の業務負担が大きくなると思われるが、その対応はどのようにしているのか。</p>
4 学校給食費無償化事業について	<p>(1) 給食の質について</p> <p>無償化する上で予算にも限りがあると思われるが、給食の質が今までより低下したり、栄養バランスが悪くなることはないのか。</p>
	<p>(2) オーガニック給食について</p> <p>無償化は継続していくものと思われるが、食材に関してはより安心・安全な減農薬・無農薬にシフトしていくことを願うが、そのような考えはあるのか。</p>

若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 学校給食費無償化事業について （つづき）	<p>（3）市内の公立高校の給食化及び給食無償化について</p> <p>先日の大聖寺実業高等学校との意見交換会の中で出た意見の一つとして、市内の公立高校の給食化及び給食無償化が挙げられた。</p> <p>とても良い意見であり、市の高校魅力化プロジェクトにもつながると思われるが、市内の公立高校の給食化及び給食無償化を検討してはどうかと考えるが、所見を問う。</p>
5 就学校の変更について	<p>市内小・中学校への就学については、住所地により定められた通学区域に基づき指定校が定められており、特別な理由がある場合には、指定校以外の学校への就学が認められることがある。</p> <p>金沢市では通学距離という項目で、「通学距離がおおむね小学校で2キロメートル、中学校で4キロメートルを超える場合で、著しく通学距離が短縮される場合」には変更できるという条件がある。</p> <p>加賀市の条件でも「通学距離及び通学の安全上等から特に配慮を要すると認められる場合」とあるが、距離の設定があいまいであり、市民から校区外ではあるが、家から近い学校へ行くことができるのか分からないとの声も聞く。</p> <p>住所が校区の境目の地域では、このような問題が以前からあったと思われるが、金沢市のように項目を増やすようなことは考えられないのか、所見を問う。</p>

一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 安全保障関連3文書と市民への責任について	<p>岸田首相はロシアのウクライナ侵略を口実に、日本も必要な防衛力をと力説しているが、「敵基地攻撃能力の保有」や「防衛予算の2倍化」などを打ち出したいわゆる「安保3文書」は、国是としている「専守防衛」を乱暴に踏み外したものである。</p> <ul style="list-style-type: none">・「敵基地攻撃能力の保有」を打ち出し、攻撃されそうになったら攻撃できる。・迎撃できないような極超音速兵器の購入。・今後5年間で軍事費を43兆円に増額して世界第3位の軍事大国となる。 <p>など、現在の憲法が歯止めとしている「専守防衛」の枠を大きく踏み外し、まさに諸外国に脅威を与えることになる。</p> <p>国会審議で浜田防衛大臣は、報復攻撃で我が国にも被害が及ぶ可能性があることを認めている。</p> <p>加賀市民の生命と財産を守る立場にある、加賀市長としてこのことについての所見を問う。</p>
2 自衛隊基地の強靱化と自治体への影響について	<p>去る2月26日付けのしんぶん赤旗日曜版において、小松基地を含む自衛隊基地の強靱化問題と地方自治体への影響についての記事が記載された。これまで防衛省近畿中部防衛局と自治体の間では、F-35Aなど新装備配備に伴う騒音問題など、市や加賀市基地周辺整備協議会等に対して説明がなされてきた。今回の自衛隊基地強靱化の問題は、核攻撃も含め武力攻撃、テロ行為を想定するなど、これまで以上に深刻な内容であった。</p> <p>このような事態になれば、周辺住民と自治体にも多大な影響が出ると思われる。</p> <p>今般の自衛隊基地の強靱化について、防衛省近畿中部防衛局から加賀市に説明があったのか。</p>

一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 デジタル田園健康特区について	<p data-bbox="502 360 1029 394">(1) 市民の選択肢を増やすことについて</p> <p data-bbox="512 443 1434 595">本市議会デジタル田園健康特区特別委員会においては、加賀市におけるデジタル社会の在り方や、構想の進め方などを議論しているが、何をするにもまずマイナンバーカードを持っていないと始まらないというイメージである。</p> <p data-bbox="512 602 1434 792">そもそも、マイナンバーカードの取得は任意であって強制ではない。一連の市民サービスを受けようとする、マイナンバーカードの保有が前提となる。国は2024年秋には健康保険証を廃止する方針だが、本来、全ての加賀市民が享受できる行政サービスを、使いたい人が使えばよいという自己責任を持ち込むことは許されない。</p> <p data-bbox="512 799 1434 990">デジタル技術を使える人と使えない人の間で、行政サービスに情報格差（デジタルデバイド）があってはならない。住民にデジタル化を押し付けるのではなく、住民の多面的なニーズに応えるため、アナログとデジタルの両面において、市民の選択肢を増やすことが必要だと思うが、所見を問う。</p>
	<p data-bbox="502 1081 1029 1115">(2) 特区の認定と市民の利便性について</p> <p data-bbox="512 1164 1434 1317">この特区に認定されて何がどう変わるのかという具体的なプランが見えてこない。国の言いなりに進めれば進めるほど、市民の間に格差が生まれるという本末転倒な仕組みになっているのではないかと懸念している。</p> <p data-bbox="512 1323 1434 1395">例えば、M a a S（マース）アプリも、スマホを持っていないことには参加できない。</p> <p data-bbox="512 1402 1434 1509">マイカーを所持しておらず、M a a Sを必要とし、かつアプリケーションを操作できる高齢者がどれだけいるのか、当局は把握しているのか。</p> <p data-bbox="512 1516 1434 1632">また、市民の交通に対する利便性向上を求めるという要求よりも、特区認定後に必要な環境づくりのほうが優先されているように思われるが、所見を問う。</p>
4 新保北地区産業団地事業について	<p data-bbox="502 1720 973 1753">(1) 産業団地造成の必要性について</p> <p data-bbox="512 1803 1434 1874">新保地区は、広く農業振興地域が広がり、また、意欲的に農業に取り組む農家が多い地区であると認識している。</p> <p data-bbox="512 1881 1434 1953">しかしながら、当地の農用地を農業振興地域から除外してまで産業団地化しなければならない理由を問う。</p>

一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 新保北地区産業団地事業について（つづき）	<p data-bbox="504 360 831 394">(2) 農地の減少について</p> <p data-bbox="512 443 1434 555">本事業によって産業団地化される農地の面積と、加賀温泉駅周辺における未来型商業エリア推進事業により商業施設化される農地の面積は、どれほどになるのかを問う。</p> <p data-bbox="512 562 1434 757">また、農地を減らすことは、加賀市の基幹産業である農業の礎を弱めることにつながる。令和4年12月定例会で、私の質問に対して「農地の確保については、食料の安定的供給の観点からも、適正面積の確保が必要である。」と答弁しているが、ここで言う適正面積とは具体的にはどれだけのなか。</p>
	<p data-bbox="504 846 943 880">(3) 農業振興と農地転用について</p> <p data-bbox="512 925 1434 1037">加賀市の農業振興を推進している市当局自らが、農地転用を推進すべきではない。農業で生活できる場をなくしてきた自民党農政からの脱却が求められる。</p> <p data-bbox="512 1043 1434 1155">地産地消をうたい、市民への安定した食糧供給を図ると言ってきたことと、農地転用の面積を増やすことは矛盾すると思われるが、所見を問う。</p>
5 加賀ライズタウン構想について	<p data-bbox="512 1249 1434 1317">2021年10月20日に、加賀温泉駅周辺で計画する住宅・商業エリア開発のプロジェクトチームを設立したとある。</p> <p data-bbox="512 1323 1434 1480">構想では、再生可能エネルギーやドローン等を利用した新たな物流の導入を想定している。プロジェクトチームには名立たる（いろいろな）企業が参画しているが、これらの企業が参画した経緯及び現在の構想の進捗状況について問う。</p> <p data-bbox="512 1487 1434 1554">また、この中の一つの会社は市内駅等活性化調査検討業務を受託した会社で、大聖寺ゲートウェイを提案した会社である。</p> <p data-bbox="512 1561 1434 1628">大聖寺ゲートウェイの事業では、事業計画に対しては100%以上達成しているにもかかわらず、収支はマイナスとなっている。</p> <p data-bbox="512 1635 1434 1702">このような事業を提案するような会社に加賀ライズタウン構想への参画資格を与えて大丈夫なのか。</p> <p data-bbox="544 1709 1182 1742">事業の見直しを行うべきと考えるが、所見を問う。</p>

一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
6 加賀市医療センターの初診料値上げについて	<p>加賀市医療センターが建設される際には、高度医療、急性期医療を担うセンター病院であるという方向性と同時に、地域医療を担う役割があると言っていた。</p> <p>加賀温泉駅前に建設したのも交通アクセスの良さを考慮したためであり、市民にとって身近な病院であるとアピールしてきたはずだと考える。</p> <p>またコロナ禍においては、公立の病院が果たす役割の大事さも痛感されたのではないかと考える。</p> <p>1年後とはいえ、こうした値上げ路線のレールを敷くことは許されない。市民の命や健康を守るべきところが診療の敷居を高くすべきではない。国の言いなりの政策ではなく、市民の命と健康を守ることを第一に考えるべきである。</p> <p>加賀市医療センターが、地域医療を担う市民にとって身近な病院であるためには、初診料の値上げは決してすべきでないと考えるが、所見を問う。</p>
7 観音像の航空障害灯の設置について	<p>旧ユートピア加賀の郷のある丘陵地には、高さ73メートルの観音像がある。</p> <p>航空法では、高さ60メートル以上の物件には航空障害灯の設置が義務づけられているが、現状は機能しておらず、航空法に違反している。</p> <p>観音像は小松飛行場からの飛行機の飛行直下に位置し、航空障害灯の設置は加賀市民の安心・安全にとっても極めて重要な問題である。</p> <p>このことから、観音像の現在の所有者を明らかにするとともに、その所有者に対し、航空障害灯の設置、もしくは機能回復を行うよう市から強く働きかけることを求めるが、所見を問う。</p>

一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
8 保育士の処遇改善について	<p data-bbox="504 365 1002 398">(1) 会計年度任用職員の処遇について</p> <p data-bbox="513 443 1430 555">令和5年度当初予算の柱として、人への投資とインフラへの投資を掲げているが、子育てを支援していく取組と同時に必要なのが、保育士の処遇改善である。</p> <p data-bbox="513 566 1430 633">昨年、日本自治体労働組合総連合いわゆる自治労連が行ったアンケート調査によると、</p> <ul data-bbox="544 645 1430 913" style="list-style-type: none"><li data-bbox="544 645 1430 712">①労働組合の要求で実現したケア労働者の賃上げも、加賀市の保育士の上限は据え置きであった。<li data-bbox="544 723 1430 757">②会計年度任用職員の賃金は小松市と加賀市で格差がある。<li data-bbox="544 768 1430 835">③継続雇用についても非公募者は加賀市が3年間の雇用と短い。白山市、珠洲市、内灘町などは5年間の雇用である。<li data-bbox="544 846 1430 913">④病気休暇については、正規職員は有給であるのに対し、会計年度任用職員は無給である。 <p data-bbox="513 925 1430 1037">正規職員と会計年度任用職員の格差がこれだけ大きいと、会計年度任用職員のモチベーションが上がらず、ひいては職場環境にマイナス作用を及ぼさないか心配である。</p> <p data-bbox="544 1048 1126 1081">このことから、次の3点について所見を問う。</p> <ul data-bbox="544 1093 1430 1272" style="list-style-type: none"><li data-bbox="544 1093 1430 1126">・小松市と加賀市の保育士の会計年度任用職員の給料額を示せ。<li data-bbox="544 1137 1430 1205">・継続雇用の期間を最低でも5年にして、安心して業務に専念できるようにすべきである。<li data-bbox="544 1216 1430 1272">・病気休暇や生理休暇など、身体の健康に関しての休暇は有給にすべきである。
	<p data-bbox="504 1361 858 1395">(2) 保育士の配置について</p> <p data-bbox="513 1440 1430 1552">保育の質向上は子供の成長にとっても不可欠である。保育の質を落とさないようにするためにも、待遇改善と併せて配置基準を変えて人を増やすよう国に対して強く要望することを求めるが、所見を問う。</p>

南出 貞子 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 加賀市の防災・減災について	<p>(1) 防災士養成事業と各町の自主防災組織の状況について</p> <p>昨年の大雨被害からも感じる昨今の気象状況には、予断を許さない状況が続いている。防災士の養成に関し、1町当たり2名で計560名を養成することであるが、市において、防災士の養成及び、自主防災組織の活動の状況を踏まえた上で、今後、地域との連携をどのように進めていくのか。</p> <p>また、昨年の小松市での大雨被害は、あと少し雨雲がずれていたら、加賀市にも被害が及んでいたことを思うと、早急に、各町での防災・減災対策を十分に進めていくことが喫緊の課題であると考えますが、所見を問う。</p>
	<p>(2) 洪水ハザードマップ作成事業について</p> <p>加賀市においては、以前からも洪水ハザードマップを作成し、各町内に配布しているが、昨今の気象状況から、よりきめ細やかな被害想定を基にしたマップの見直しが必要であると考えます。</p> <p>今回の新ハザードマップの作成等、事業の内容を示せ。</p> <p>また、住民に対しての説明などはどのようにしていくのか。</p>
	<p>(3) 防災の専門職・危機管理監について</p> <p>昨年3月定例会において質問した危機管理監の配置について、その後の状況を示せ。</p>
2 インフラへの投資について	<p>(1) 未来型商業エリア推進事業について</p> <p>過日、大聖寺実業高等学校との意見交換会の中で、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での日本人の活躍からスポーツとして認知する人が増えているアーバンスポーツの施設や、ブックカフェ、カードショップなどのアミューズメント施設を造ってほしい」という意見があった。</p> <p>今回、加賀温泉駅周辺に、未来型商業エリア等を整備し、若者や若いファミリーをはじめ、誰もが行きたくなるような楽しく時間を過ごせるにぎわいのある商業施設などの実現を目指すとのことであるが、こうした若い世代の声を丁寧に聞きながら推進するべきであると考えますが、所見を問う。</p> <p>また、何年程度でその形成を図る計画であるのかなど、この事業の具体的な内容を示せ。</p>

南出 貞子 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 インフラへの投資について	<p>(2) 住宅支援事業について</p> <p>若者の移住・定住促進のため、住宅地の開発や住宅の供給・取得に関する事業を住宅供給事業者等と共にコンソーシアム（共通の目標のために企業や組織が作る共同体）を結成し、住宅地開発支援や住宅取得支援などの事業を展開するとある。</p> <p>これらの事業について、若者層や子育て世代をはじめ、住民への周知としてホームページなどへの掲載はもちろんであるが、さらに、若者に対して直接働きかける有効な方策が必要であると考えているが、所見を問う。</p>
3 人への投資について	<p>(1) 子育て寄り添いおむつ事業について</p> <p>保育士による継続的な相談支援は県内初として、妊娠から出産・産後12か月までの期間、市内児童センター6か所で相談時におむつを渡す事業だが、指定箇所で待っているだけで真の「寄り添い」と言えるのか。例えば、産婦家庭に直接出向くことも必要と考えるが、所見を問う。</p> <p>(2) ヤングケアラー支援事業について</p> <p>ヤングケアラーの実態は、把握しにくいといわれている。</p> <p>各学校での生活調査で把握した児童生徒に対し、個別面談や家庭への支援が必要と思われる場合は、子育て応援ステーションにつなぎ支援するとあるが、プライバシー等の配慮の必要性を踏まえ、どのような支援を行うのか。</p> <p>また、当初予算計上事業は、体制づくりと研修会・講演会という、当事者から少し距離を置いた間接的な支援に見えるが、令和5年度はこうした支援にとどまるのか。</p>
	<p>(3) 妊娠期からの子育て世帯への応援交付金事業について</p> <p>核家族化が進む中、孤立感・不安感を抱く妊婦・子育て家庭が安心して出産できるための応援給付金であるが、給付基準日や給付額、また、加賀市に住民登録がある期間などの要件の有無をはじめ、制度の具体的な内容を問う。</p>

南出 貞子 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 がんアピアランス支援事業について	がん治療に伴う外見の悩みを抱える患者に対して、ウィッグ等の購入費用の一部を助成することのだが、個人情報保護の観点から、手続きなどをどのような方法で配慮し、助成するのか。
5 特定行為看護師の養成について	医師に代わって治療補助を伴う「特定行為看護師」を養成することのだが、何か年計画で何人の特定行為看護師の養成を目指すのか。 また、加賀市医療センターのみならず、市内の民間の医療機関の看護師も養成対象に該当するのか。
6 加賀温泉郷マラソンの開催について	大会の開催に当たり、コロナ禍ではあるものの、加賀温泉郷へのお出迎えとして、この大会ならではの特色のあるおもてなしを付加してはどうかと考えるが、所見を問う。
7 学校教育ビジョン推進事業について	常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す力、問題発見力や革新性等がこれからの時代の子供たちの求められる力となる。「そろえる教育」から「伸ばす教育」へ、一人一人、それぞれの可能性を最大限開花させる教育を推進するとある。 この4つのプロジェクトについては、市内全校において一斉に実施する必要があると思われるが、所見を問う。
8 学力向上事業について	小・中学校の学習環境の整備と一人一人の資質・能力に応じた個別最適な学び及び教員の授業力向上を進め、自己解決能力及び自己肯定感を向上させ、これからのグローバル社会に通じる人材の育成と生きる力を育む事業とあるが、開催場所や講師、受講希望者の人数制限など、事業の内容及び課題について、所見を問う。

辰川 志郎 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 加賀市の公立保育園について	<p>(1) 現状について</p> <p>公立保育園は各中学校校下に1か所（東和中学校校下は2か所）維持するとのことであるが、現在、定員に対して大幅に收容入園児童数が減少している。</p> <p>收容入園児童数を維持するため、加賀市公立保育園再編基本計画の進め方についてどのように考えているのか。</p>
	<p>(2) 原因と今後の対策について（持込資料No. 1）</p> <p>公立保育園の充足率が低い原因として、ゼロ歳児及び1歳児の受入れをしていないことが挙げられるが、これらを解消する計画はあるのか。</p>
2 高等学校魅力化事業について	<p>(1) 市内中学生の高等学校の進路について（持込資料No. 2）</p> <p>今年も市内高等学校の受験者数は定数には大幅に満たない状況であった。市外の高等学校へ求める理由は、勉学はもちろんであるが、クラブ活動でもある。</p> <p>多くの中学生は、中学校の部活動からさらなる活動のできる環境を求めていることが現実である。</p> <p>以上を踏まえて、市内高等学校の魅力化事業として、どのような計画があるのか。</p>
	<p>(2) 中学校の部活動の地域への移行について</p> <p>中学校の部活動は、2025年度までに地域の社会活動へ移行することであるが、現在の進捗状況はどのようになっているのか。</p> <p>また、スポーツを行う環境として、指導者、場所、道具、時間、お金等、様々な要素があり、それぞれの課題を整理し、調整を図りながら地域移行を進める必要があると思われるが、市としてどのように取り組むのか。</p>